

# 電子入札システム事前準備 (受注者向け環境設定)

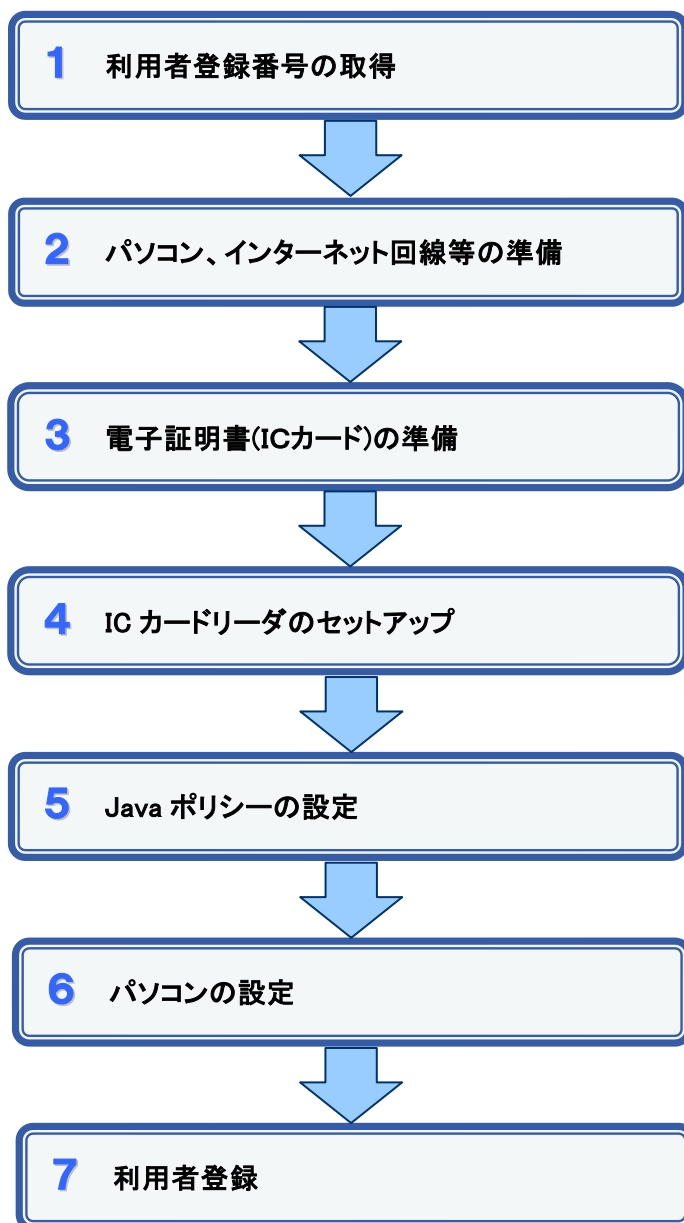
七尾市

# はじめに

---

電子入札をご利用いただくためには、事前準備をしていただく必要があります。事前準備の流れは、以下の通りです。

(それぞれの準備内容は、各章を参照してください。)



# 1 利用者登録番号の取得

---

電子入札をご利用するにあたり、「利用者登録番号」、「商号または名称」及び「パスワード」を事前に取得する必要があります。これらは電子入札システムの利用者登録を行う際に必要となる情報です。

「七尾市電子入札 IC カード登録用パスワード申請書」を提出してください。

## 1. 利用者登録番号

競争入札参加資格者名簿に記載の業者番号の下8桁の数字の番号となります。

## 2. 商号または名称

ア. 全ての文字を全角で入力してください。

イ. 株式会社、有限会社については、「(株)」、「(有)」にて入力してください。

入力例：株式会社〇〇建設 → (株)〇〇建設

※(株)は全角入力のカッコを使用し、記号の株は使用しないでください。

ウ. 入札及び契約に関する一切の権限を委任されている場合は、委任先の営業所等を入力してください。

※七尾市競争入札参加資格者名簿に記載の商号又は名称をそのまま入力してください。

入力例：〇〇建設(株) 〇〇営業所

## 3. パスワード

半角英数小文字8文字の組み合わせとなります。

# 2 パソコン、インターネット回線等の準備

---

電子入札を行うために必要なパソコン、インターネット回線等をご用意ください。

- ・ インターネットに接続されているパソコン (Windows XP/Vista/7)
- ・ 電子証明書 (IC カード) (購入時に付属の関連ソフトも含む)
- ・ IC カードリーダー (IC カードリーダー購入時付属のドライバも含む)
- ・ プリンタ (A4 サイズ以上)

※各機器のスペックについては、「別紙 動作環境について」をご覧ください。

### 3 電子証明書(ICカード)の準備

電子入札をご利用いただくためには、コアシステム対応認証局が発行した電子証明書(ICカード)(有料)が必要になります。電子証明書(ICカード)の購入方法は、各認証局にお問い合わせください。

電子証明書(ICカード)の購入にあたっては、住民票等を用意していただくことになります。また、購入から実際に電子証明書(ICカード)が手元に届くまで、ある程度の日数が必要になります。そのため、日数に余裕を持って、購入していただくことをお勧めします。

※電子証明書(ICカード)の購入先は「コアシステム対応認証局お問い合わせ先一覧」(<http://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/linkpage/link5/link5j/link5j-3toiawaseitiran.htm>)をご参照ください。

注:「電子認証登記所(商業登記に基づく電子認証制度)」には対応していません。

#### 【重要】電子証明書(ICカード)の名義人について

電子証明書(ICカード)の名義人は、競争入札参加資格者名簿に登録された代表者、または権限を委任されている場合は、受任者としてください。



#### 認証局より IC カードを購入されていない方への注意事項

入札情報システムの設計図書等閲覧機能(および認証要のファイルのダウンロード)をご利用になるには、Java のインストールと Java ポリシーの設定を行う必要があります。

別途、『入札情報システムの設計図書等閲覧機能 Java ポリシー設定マニュアル』を参照の上、必要な設定を行ってください。

### 4 ICカードリーダーのセットアップ

電子証明書(ICカード)に対応しているICカードリーダーをセットアップしてください。詳細は、ICカードリーダーの説明書、またはご購入された各認証局へお問い合わせください。

### 5 Java ポリシーの設定

IC カードリーダーの説明書に従い、Java ポリシーに次の発注機関名と URL を設定します。

発注機関名	石川県電子入札システム
URL	<a href="https://www.ep-bid.supercals.jp/">https://www.ep-bid.supercals.jp/</a>

## 6 パソコンの設定

---

電子入札を利用できるように、パソコンの設定を行います。具体的な設定方法は、「別紙1 パソコンの設定方法について」をご参照ください。

## 7 利用者登録

---

上記の準備が整いましたら、電子入札システムへ利用者登録を行います。利用者登録の操作方法については、操作マニュアルをご参照ください。

# 別紙 1 パソコンの設定方法について

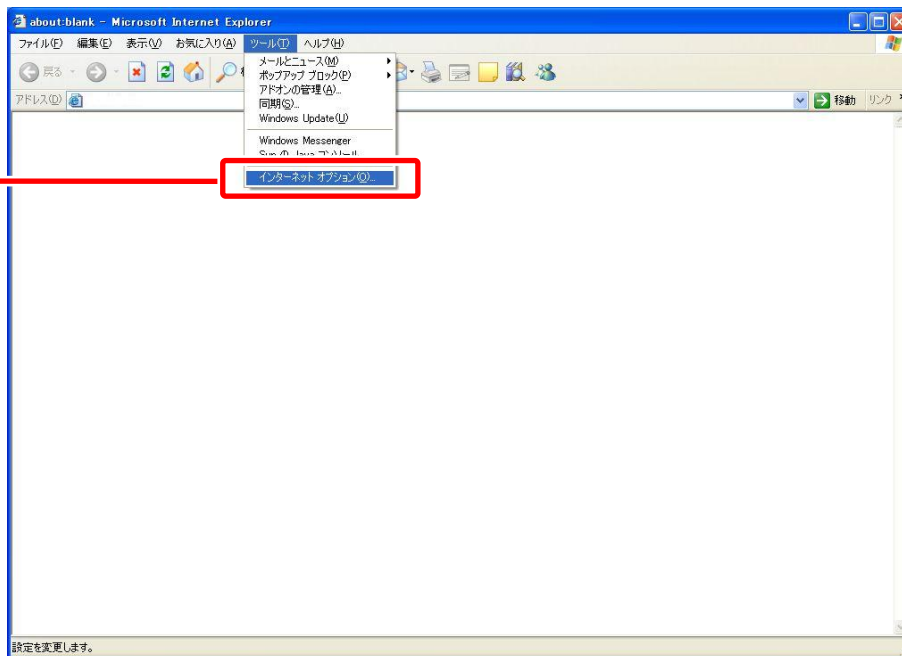
## 1. 信頼済みサイトへの登録

**Step 1** Internet Explorer の「ツール(T)」-「インターネットオプション(O)」をクリックする

**Step 2** 「インターネットオプション」画面が表示される



「本システムを信頼済みサイトへ登録します」へ進みます

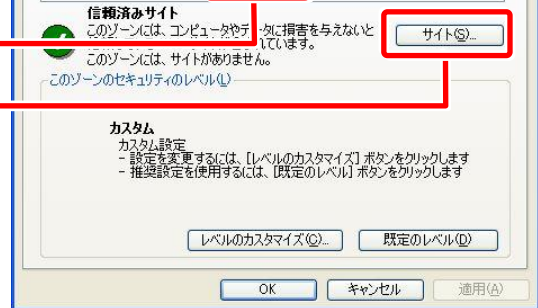


【 本システムを信頼済みサイトへ登録します 】

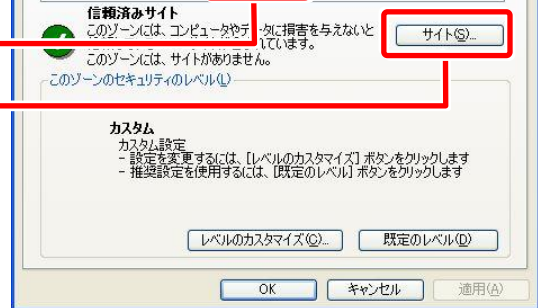
Step 1 「セキュリティ」タブをクリックする



Step 2 信頼済みサイトををクリックする

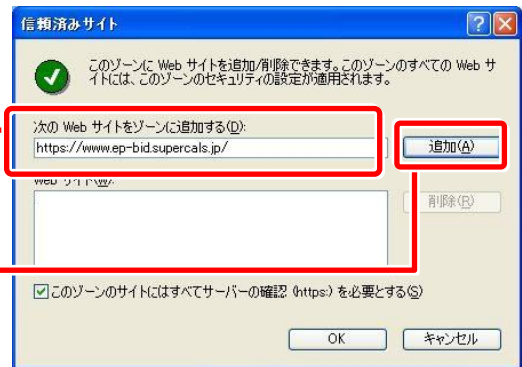


Step 3 サイト(S)ボタンをクリックする



Step 4 「信頼済みサイト」画面が表示される

Step 5 次の Web サイトをゾーンに追加する(D)に「<https://www.ep-bid.supercals.jp/>」と入力する



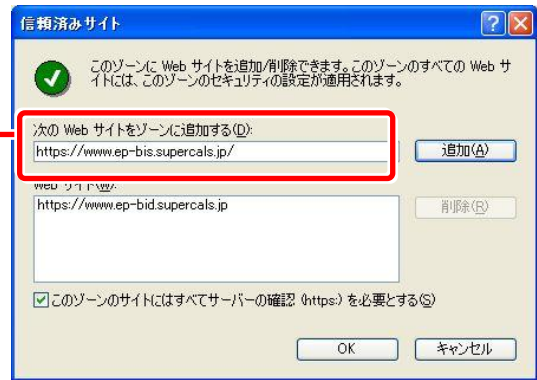
Step 6 追加(A)ボタンをクリックする

Step 7 Web サイト(W)に入力した URL が表示される



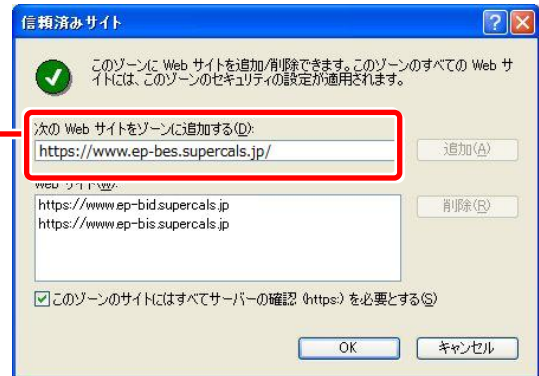
### Step 8

「Step 5」と同様に  
「<https://www.ep-bis.supercals.jp/>」と  
入力し、「Step 6」～「Step 7」を繰り返す



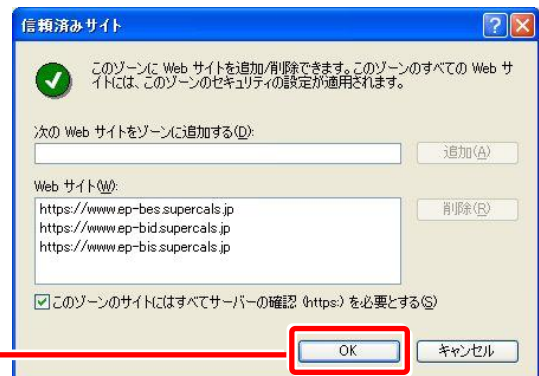
### Step 9

「Step 5」と同様に  
「<https://www.ep-bes.supercals.jp/>」と  
入力し、「Step 6」～「Step 7」を繰り返す



### Step 10

OK ボタンをクリックする



### Step 11

「インターネットオプション」画面が表示される



「信頼済みサイトのセキュリティレベルを確認します」へ進みます



## 【 信頼済サイトのセキュリティレベルを確認します 】

**Step 1** 「このゾーンのセキュリティのレベル(L)」を確認する

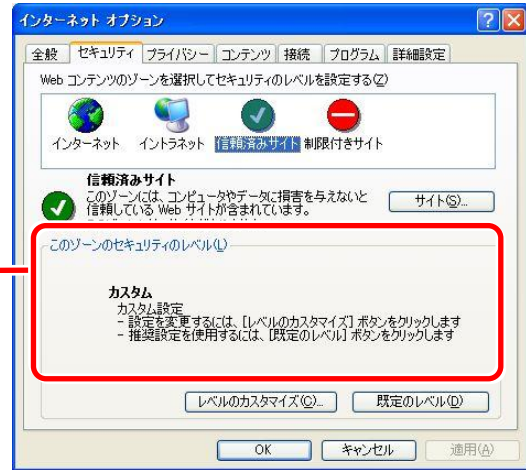


### レベルが「低」の場合

ここで設定終了です。  
(「低」がこのゾーンの既定のレベルとなります。)

### レベルが「カスタム」の場合

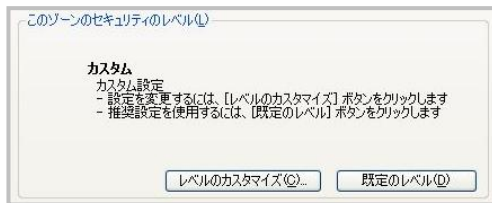
下記の注意をよく読み、「信頼済サイトのセキュリティレベルを設定します」へ進みます。



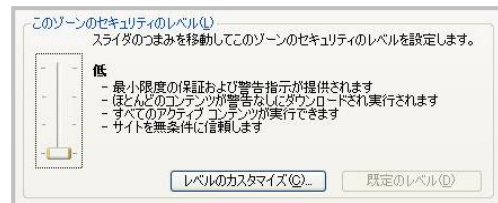
## 注意

セキュリティレベルが「カスタム」になっている場合は、他のシステムを使用するために設定が変更されている可能性があります。セキュリティレベルの設定変更を行っても問題がないか確認して下さい。変更ができない場合は、別に専用のパソコンを準備するなどの対策をお願いします。

### レベルが【カスタム】の場合



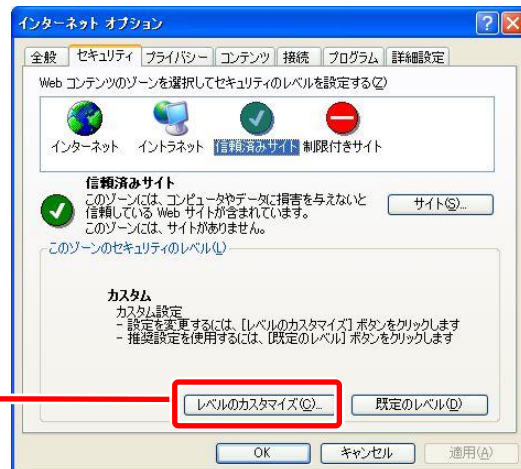
### レベルが【低】の場合



## 【 信頼済サイトのセキュリティレベルを設定します 】

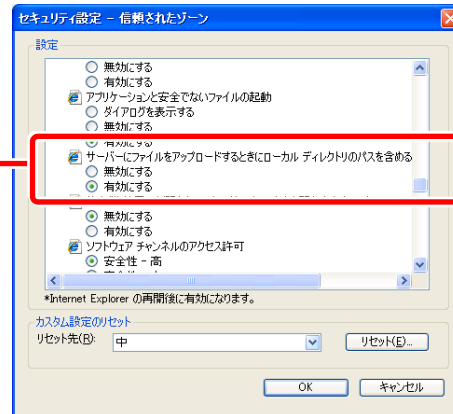
**Step 1** レベルのカスタマイズ(C)ボタンをクリックする

**Step 2** 「セキュリティの設定」画面が表示される



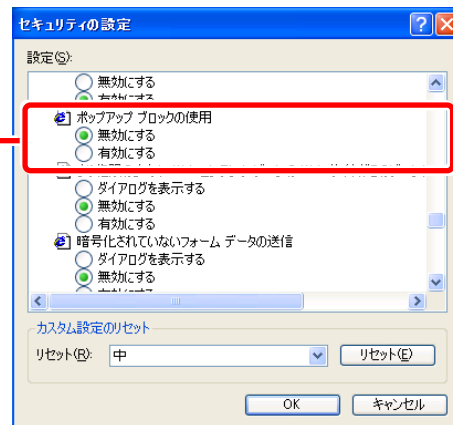
**Step 3**

「サーバーにファイルをアップロードするときローカルディレクトリのパスを含める」を「有効にする」に設定する (Internet Explorer 7/8/9 の場合)



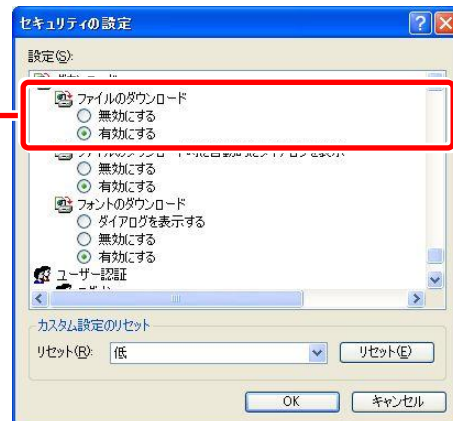
**Step 4**

「ポップアップ ブロックの使用」を「無効にする」に設定する



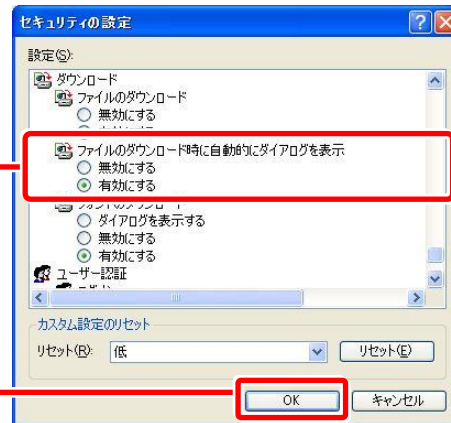
**Step 5**

「ファイルのダウンロード」を「有効にする」に設定する



Step 6

「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」を「有効にする」に設定する



Step 7

OKボタンをクリックする

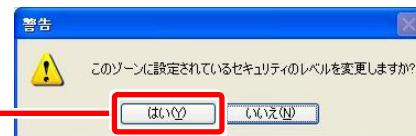


## ワンポイント

Internet Explorer のバージョンによっては、Step3～Step6の項目がない場合があります。その場合は設定を行う必要はありません。

Step 8

「このゾーンに設定されているセキュリティのレベルを変更しますか？」画面が表示される

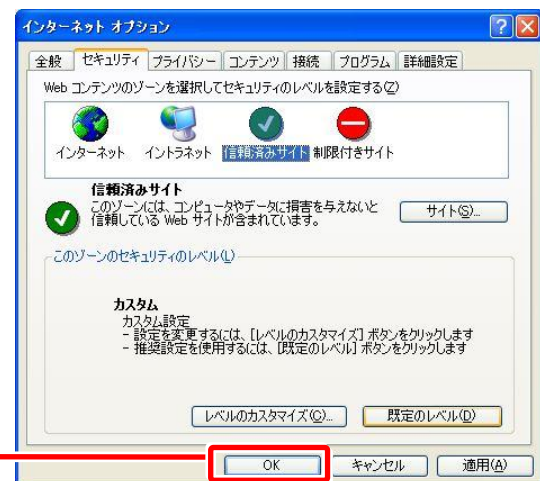


Step 9

はい(Y)ボタンをクリックする

Step 10

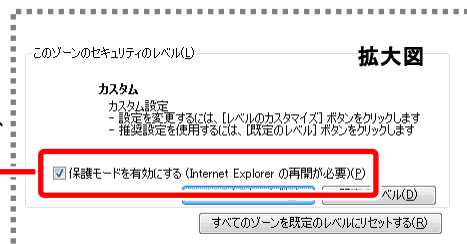
「インターネットオプション」画面に戻るので、OKボタンをクリックする





## ワンポイント

Internet Explorer7で表示される、「**保護モードを有効にする(Internet Explorer の再開が必要) (P)**」のチェックは、有効・無効どちらでもかまいません。



## お困りのときは

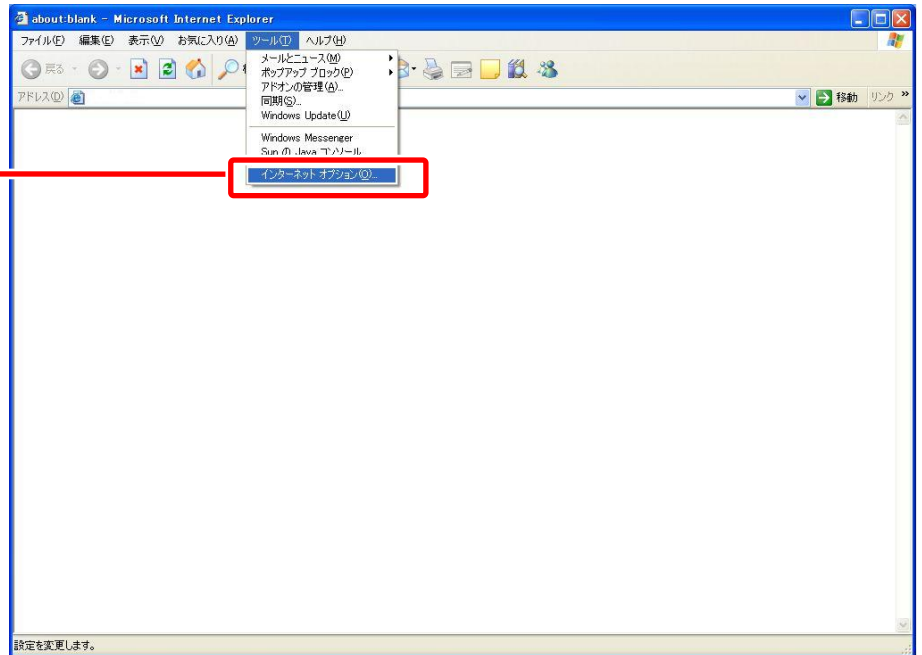
### 信頼済サイトの設定をしてもシステムが正常に動作しない場合

ご利用のパソコンの Internet Explorer に、機能拡張ソフトウェア (例: Yahoo ツールバー、Google ツールバー、MSN ツールバーなど) が組み込まれている可能性があります。この場合は2. サードパーティ製のブラウザ拡張を無効にする を参照し、サードパーティ製のブラウザ拡張を無効にしてください。

## 2. サードパーティ製のブラウザ拡張を無効にする

Step 1

Internet Explorer の [ツール(T)]-[インターネットオプション(O)] をクリックしてください。

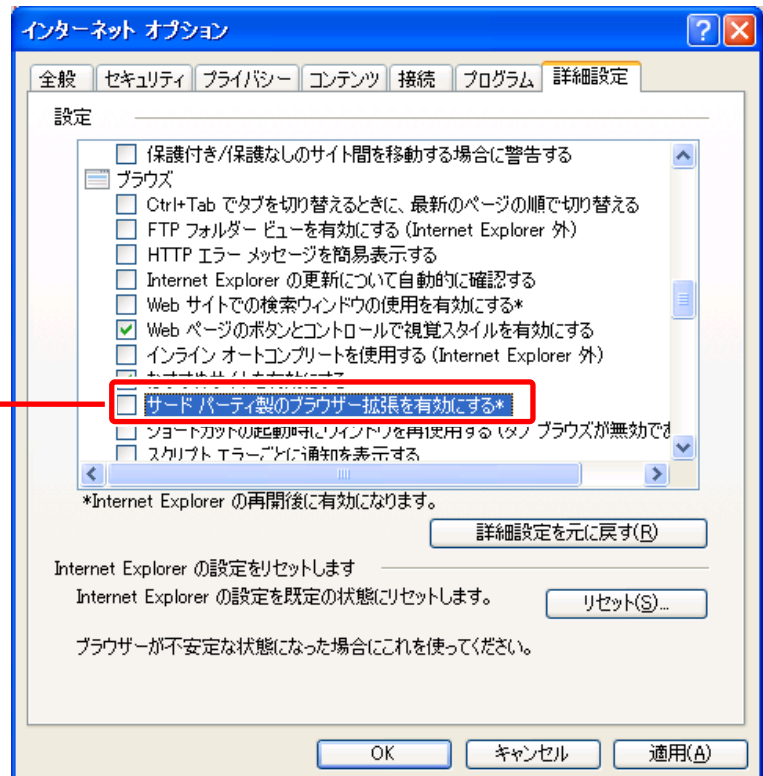


Step 2

[インターネットオプション]画面が表示されるのを確認してください。

Step 3

[詳細設定]タブ-[ブラウズ]-[サードパーティ製のブラウザ拡張を無効にする]のチェックを外し、無効に設定してください。



Step 4

設定完了後、[OK]をクリックし、画面を閉じてください。

Step 5

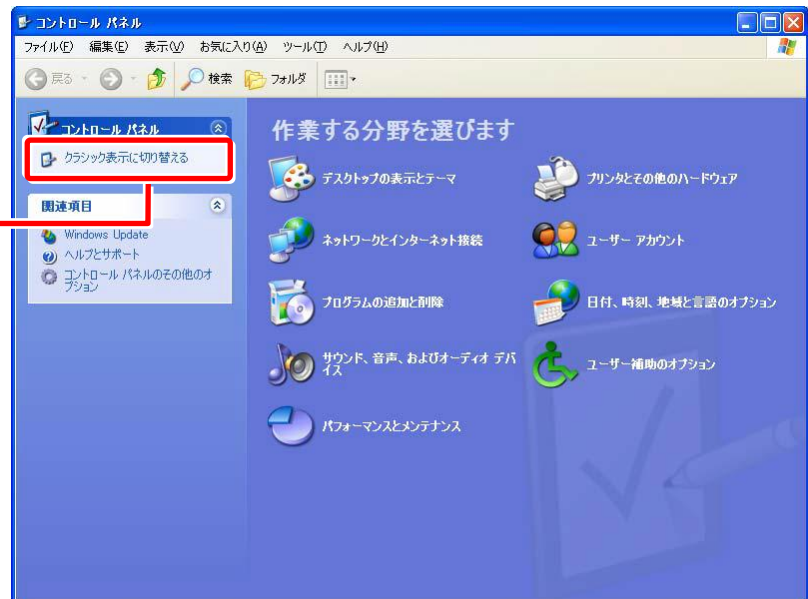
全ての Internet Explorer を × ボタンで閉じてください。

### 3. Java キャッシュクリア手順

#### Step 1

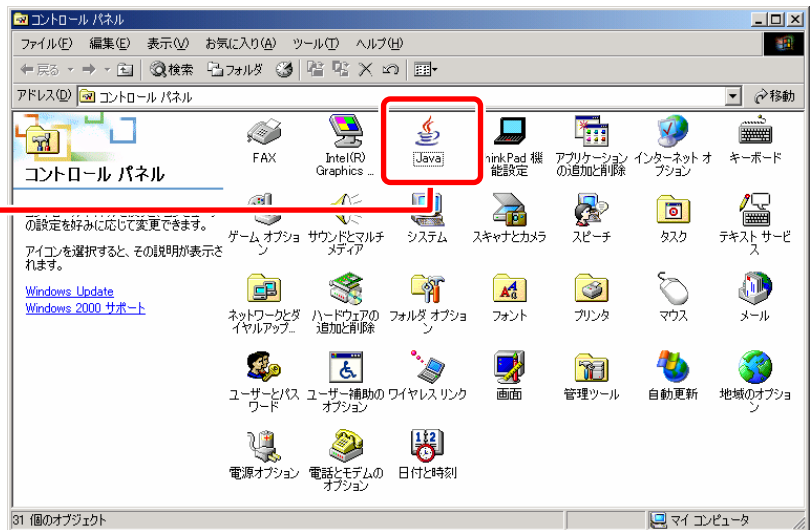
スタートボタンより[コントロールパネル]をクリックしてください。

※Windows XP にて右図の画面が表示される場合は[クラシック表示に切り替える]をクリックしてください。

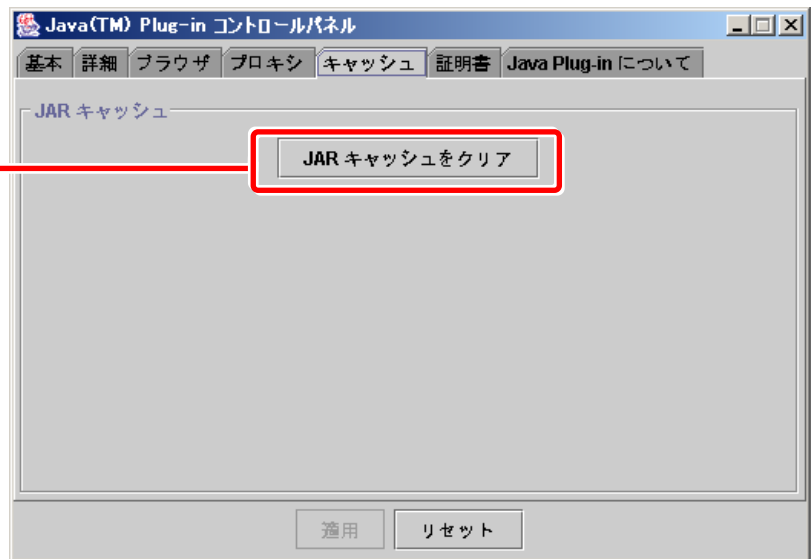


#### Step 2

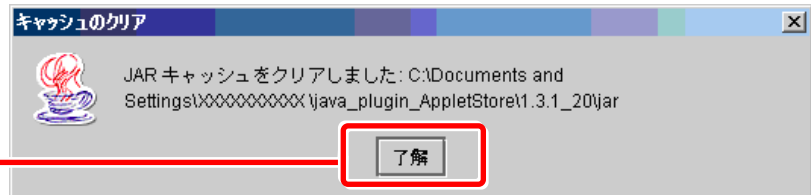
コントロールパネルが表示されるので、[Java]アイコンをダブルクリックしてください。



**Step 3** JavaPlug-in コントロールパネルが表示されるので、[キャッシュ] タブ-[JAR キャッシュをクリア]をクリックしてください。



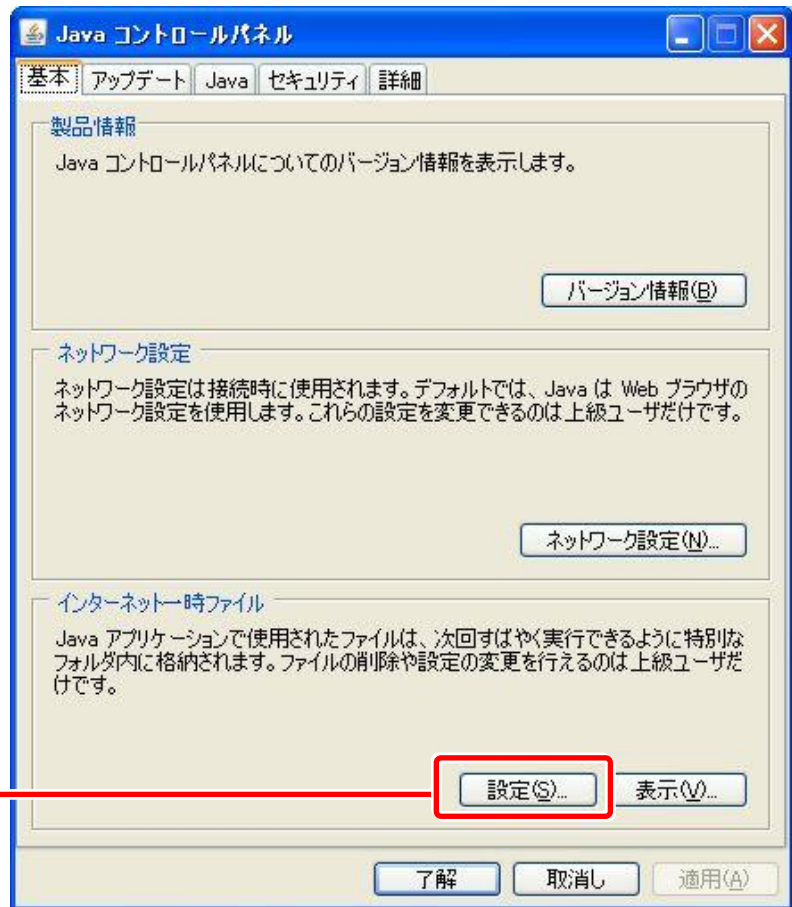
**Step 4** キャッシュクリア完了メッセージが表示されるので[了解]をクリックしてください



**Step 5** Java コントロールパネルを[×]ボタンで閉じてください。

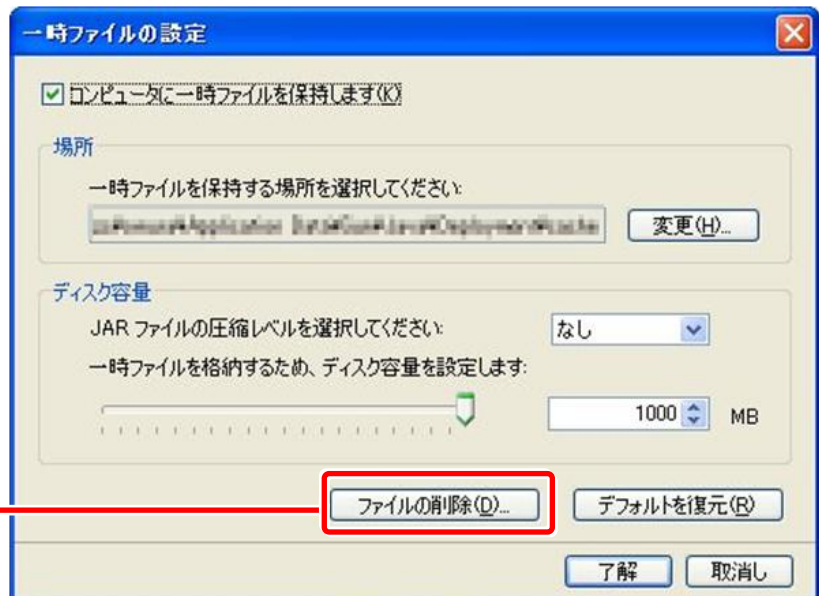
Step 3

Java コントロールパネルが表示されるので、[基本]タブ-[インターネット一時ファイル]-[設定]をクリックしてください。



Step 4

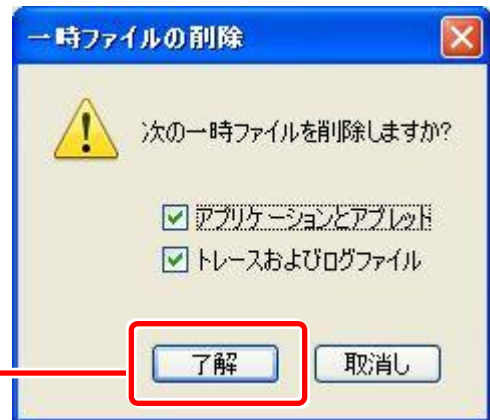
[ファイルの削除]をクリックしてください。





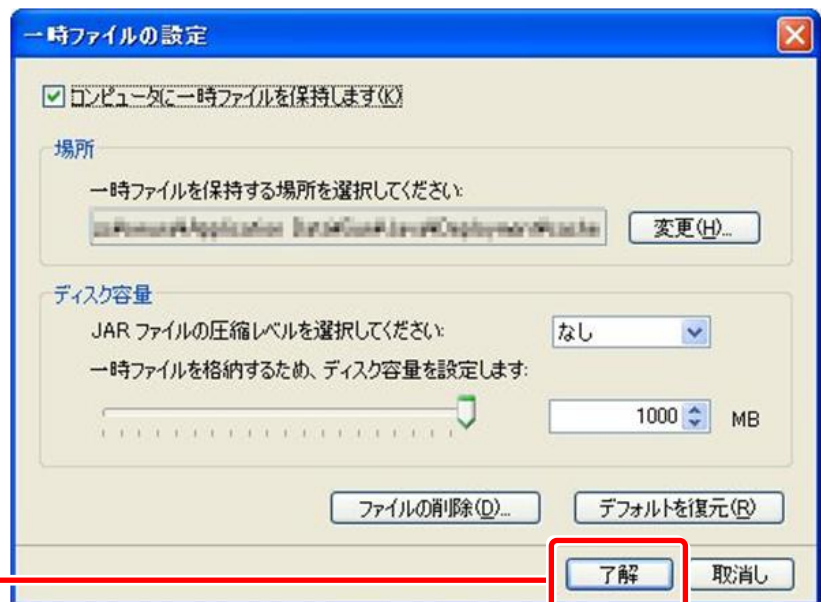
**Step 5**

一時ファイルの削除画面が表示されるので、全ての項目にチェックが入った状態で[了解]をクリックしてください。



**Step 6**

[了解]をクリックしてください。



**Step 7**

Java コントロールパネルを[×]ボタンで閉じてください。